

Day by Day

平成29年度
第2号

名身連聴覚言語障害者情報文化センター 〒453-0053 名古屋市中村区中村町7丁目84番地の1

TEL (052)413-5885 / FAX (052)413-5853 URL <http://www.meishinren.or.jp/> E-mail chogen@meishinren.or.jp

聴言センター利用時間：月・木・金9：00～20：30 火・土・日・祝9：00～16：30 休館日：毎週水曜日、年末年始、臨時休館

防災情報を知ろう！～名古屋市防災アプリ～

名古屋市が配信している「名古屋市防災アプリ」を知っているだろうか。このアプリをスマートフォンやタブレット端末^{たんまつ}にダウンロードすると、名古屋市で地震や津波、水害などの自然災害が発生した時に被害状況や避難情報、災害が起きる前に避難所などの事前情報を知ることができる。

アプリ機能① 地震防災情報

今、自分がいる場所でアプリを使うとスマートフォンやタブレットのカメラを通して「地震防災情報」を確認できる。画面の上半分にカメラ映像、下半分に地図が表示される。確認ができる情報は以下の通り。

- ☆最大クラスの地震が発生した時の被害想定情報（震度、津波の到達時間、津波の深さなど）
- ☆避難所、津波避難ビルなどの避難所情報 など

今、自分がいる場所の情報とカメラで撮影した画面が合成して表示されるので、避難所がある方向や距離を画面で見えて知ることができる。



アプリ機能② 水防情報

地震防災情報と同じく、今、自分がいる場所でアプリを使うとスマートフォンやタブレットのカメラを通して水害に関する「水防情報」が表示される。確認ができる情報は以下の通り。

- ☆観測された雨の量や浸水の深さなどの情報
- ☆自分がいる場所で洪水が発生した時の被害想定
- ☆市内河川の監視カメラ映像 など

アプリ機能③ 帰宅支援情報

大規模地震などの災害が発生して公共交通機関が止まってしまっていて帰れない場合などにアプリとGPS（位置情報）と一緒に使って、今いる場所の近くにある避難所までの方向や距離などの情報を知ることができる。確認ができる情報は以下の通り。

☆徒歩帰宅支援ステーションの場所

（主要な駅からの帰宅経路や、トイレ・水道水などの支援を受けることができる）

☆退避及び一時退避施設（広域避難場所、一時避難場所、津波避難ビルなど）



防災の基本は事前の備え

名古屋市防災アプリではいつでも実際に市内を歩いて情報を得られるので、災害が発生する前に家や仕事先などよく行く場所の防災情報を知ることができる。また、このアプリは事前に地図情報をダウンロードできるので、災害が発生して通信機能が使用できなくなっても地図を利用することができる。

災害はいつどこで発生するかわからない。災害が起きた時に落ち着いた判断や行動をするために、今回紹介した「名古屋市防災アプリ」などから事前に情報を知って災害に備えたい。このアプリは下記サイトにて無料でダウンロードできる。

☆iPhone,iPad をご利用の方はこちらから

<https://itunes.apple.com/jp/app/ming-gu-wu-shi-zhen-fang-zaiapuri/id835646852?l=ja&ls=1&mt=8>

☆アンドロイド端末をご利用の方はこちら

<https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.co.cadcenter.ARHazardScopeNY>

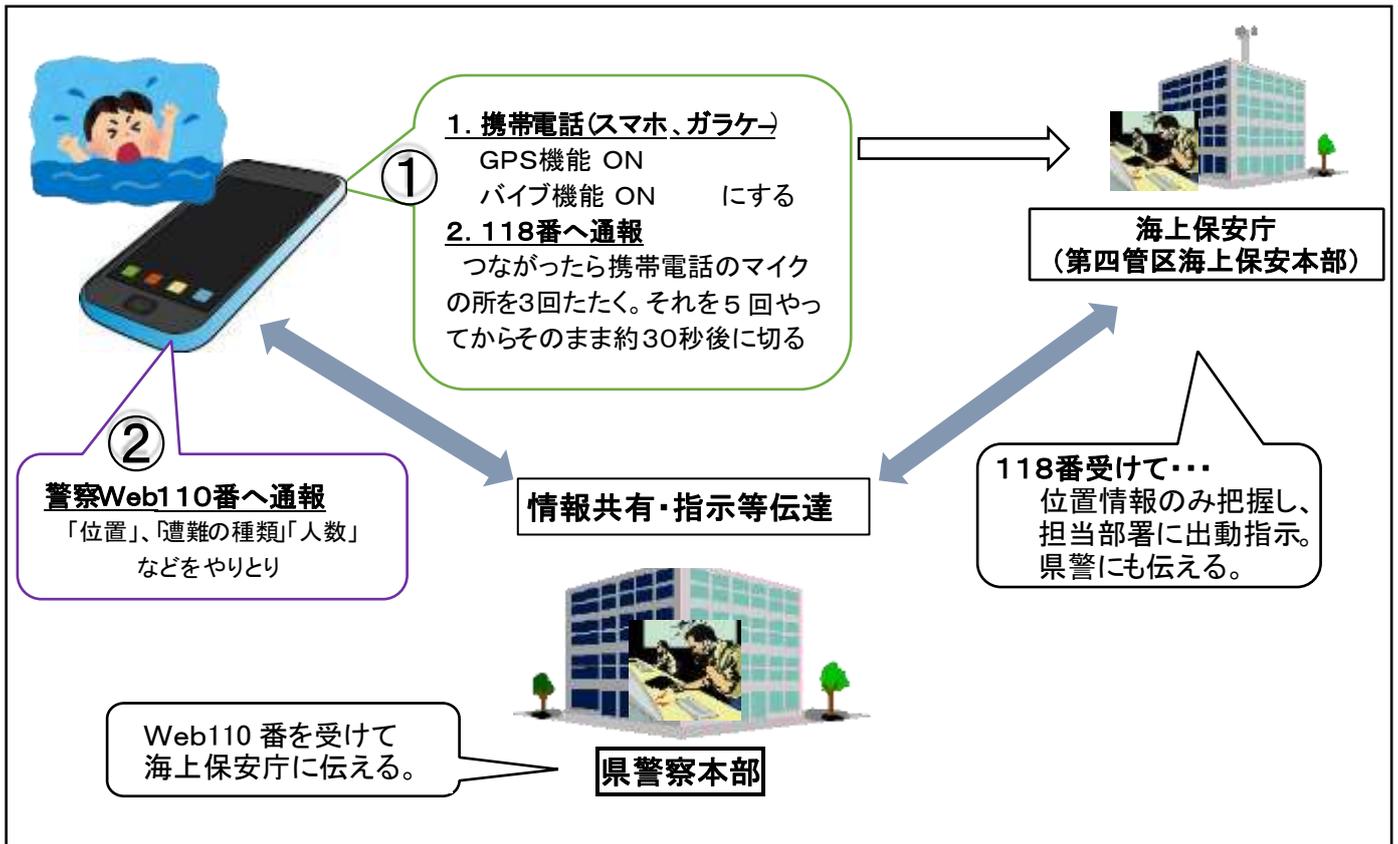
スマホ講座～防災アプリ～開催

聴言センターでは11月14日（火）と12月12日（火）にITサポート事業「スマホ講座～防災アプリ～」を開催する。詳しい情報は聴言センターのホームページなどで確認していただきたい。

聴覚障害者でも使える！海上緊急通報用電話118番

前回の情報誌『海で遭難した聴覚障害者、「電話リレーサービス」で救助！』の中でお伝えした118番通報（日本の海上で事故や事件が起きた時に連絡するための緊急通報用電話番号）について、その後に聴覚障害者でも電話をかけると救助に来てくれることがわかった。

聴覚障害者が海上で事故にあった時の緊急通報方法



①海上保安庁緊急通報番号118番に電話をかける。

- 1) 118番通報で遭難した位置がわかるので、携帯電話のGPS機能を必ず「ON」にして電話をかける。
- 2) 電話がつながったら、携帯電話のマイクの所を3回たたく。それを5回続けて行う。その後、そのまま約30秒待ってから電話を切る。

②118番通報が終わったらWeb110で警察へ通報する。

- 1) 警察へ伝える内容は「どこから出発し、どこで遭難したか」、「遭難の種類(機械故障、船がひっくり返った、海へ落ちたなど)」、「遭難者人数」、「救助到着時間」の4つを出来るときでいいので入力して通報する。
- 2) 警察より返事があるので、他に聞きたいことがあればやりとりをする。

③救助されるまで時間がかかるが、しばらく待つ。

※海水浴など浅い所で溺れときは、118番通報（海上保安庁）よりも119番通報（救急車）か110番通報（警察）へ連絡した方が早く救助に向かうことができる。

救急派遣 要約筆記者の派遣はじまります

救急車の出動を依頼する時 要約筆記者の派遣が依頼できるようになります

(平成29年10月1日～)

○「手話通訳が必要」「要約筆記者が必要」という文を入れて緊急通報(FAX・メール)すると、救急車で運ばれた先の病院(原則名古屋市内及び名古屋近郊)に手話通訳者・要約筆記者が派遣されます。

記入例

緊急通報(FAX)の場合
[緊急通報用紙]

消防ファックス番号 119 か 953-4119

緊急通報用紙
きゅう きゅう
救急です。

(どうしましたか)
急病 けが やけど

○ 名前 聴言 太郎

○ 住所 中村 区 中村町7-84-1

○ 名身荘 名身荘 1 棟 101 号室

○ あなたのファックス番号 413-5853

○ あなたのかかりつけの通称と持病
 病院 持病 高血圧

○ 必ず書いてね!
福祉中学校の 西側 約 10メートル

○ 手話通訳が必要 要約筆記者が必要 いえ (いらない)

消防ファックス番号 119 か 953-4119

緊急通報(メール)の場合
[メール119(メール画面)]

○○○@○○○

救急

聴言 太郎
中村区中村町7-84-1
名身荘1棟101号
福祉中学校西側

激しい腹痛
要約筆記者が必要

○ 必ず書いてね!

※緊急通報(メール)を利用するには、事前登録が必要です。

※緊急通報用FAX用紙のダウンロード、メール119については、以下のサイトをご覧ください。

名古屋市ホームページ <http://www.city.nagoya.jp> →暮らしの情報→消防・防災・危機管理→消防→緊急時の連絡

・FAX用紙のダウンロードは「ファックスでの緊急通報」(FAX用紙は聴言センターにもあります)

・メール119については「電子メールによる緊急通報「メール119」」

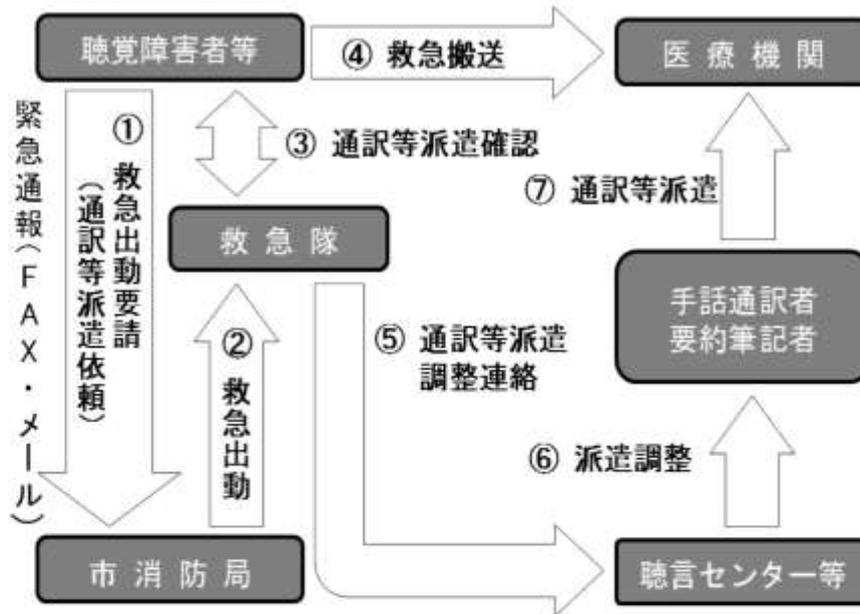
※この用紙を使わなくても通報できます。※家族、友人等からの電話(119番)による派遣依頼も受付します。

⚠ 注意!

※FAXの「緊急通報用紙」の「手話通訳が必要」「要約筆記者が必要」に○をつけなかったり、「メール119」に「手話通訳が必要」「要約筆記者が必要」と書かなかったときは、手話通訳者、要約筆記者は派遣されません。

※手話通訳者、要約筆記者を調整するのに時間がかかり、間に合わない場合があります。また、派遣を依頼しても、手話通訳者、要約筆記者が見つからなかった場合など、派遣できないこともあります。

【手話通訳者・要約筆記者派遣の流れ】



① 救急出動要請(手話通訳者・要約筆記者派遣依頼)

消防局に、救急車の出動と手話通訳者又は要約筆記者の派遣を緊急通報(FAX・メール)で行います。

② 救急出動

救急車が依頼人のところに向かいます。

③ 手話通訳者・要約筆記者派遣確認

救急車が着いたら、救急隊員が、緊急通報(FAX・メール)の内容(氏名、症状、通訳が必要かどうか)の確認をします。

※救急隊員は手話ができません。申請者とその場でコミュニケーションが取れない場合は、緊急通報(FAX・メール)で送った内容で対応します。

④ 救急搬送

救急車で病院に運ばれます。

⑤ 通訳派遣調整連絡

救急隊が、聴言センター(閉館している時間帯は、聴言センターが契約した別の業者)に手話通訳者・要約筆記者の派遣調整を連絡します。

⑥ 派遣調整

聴言センター(閉館している時間帯は、聴言センターが契約した別の業者)が派遣調整をします。

⑦ 手話通訳者・要約筆記者派遣

搬送先の病院に手話通訳者・要約筆記者が到着し、手話通訳・要約筆記を行います。

※派遣者を調整するのに時間がかかり、治療等が先に済んでしまい、手話通訳・要約筆記が間に合わない場合があります。

※手話通訳者・要約筆記者が到着する前に治療等が済んだ場合、先にご帰宅ください。

(手話通訳者・要約筆記者を待つ必要はありません。)

＜問い合わせ先＞

名古屋市健康福祉局障害福祉部障害企画課 FAX: 951-3999 TEL: 972-2587

メール: a2587@kenkofukushi.city.nagoya.lg.jp 受付時間: 月～金 9:00～17:00

名身連聴覚言語障害者情報文化センター(名身連聴言センター)

FAX: 413-5853 TEL: 413-5885 メール: chogen@meishinren.or.jp

受付時間: 月・木・金 9:00～20:30

火・土・日・祝日 9:00～16:30 ※水曜日休館

第25回聴覚障害者文化活動フェスティバル

★
HAND SIGN★
HAND SIGN

第20回、大好評につき2度目の
登場です！

手話とダンスをミックスした独
自の表現方法で、楽しいパフォー
マンスを見せてくれます！



第20回目の様子です

日時：平成30年2月4日（日）

開演：午後2時00分～3時30分（開場 午後 1時30分）

会場：熱田文化小劇場

問い合わせ：名身連聴覚言語障害者情報文化センター

※詳細、申込み方法等はチラシ、またはホームページをご覧ください。

主催／聴覚障害者文化活動フェスティバル実行委員会

構成団体：NPO名古屋難聴者・中途失聴者支援協会 名古屋市聴言障害者協会
名身連聴覚言語障害者情報文化センター

平成29年度名古屋市認定手話通訳者伝達式 でんたつしき

平成29年9月15日（金）名古屋市役所において、名古屋市手話通訳認定試験合格者の伝達式が行われた。今年度の合格者は6名。緊張した面持ちではあったが、それぞれが「合格したから勉強は終わり」ではなく、今日からスタートという気持ちで努力したい」「技術だけでなく、支援者として“人間性”を大事に活動していきたい」等の抱負を述べた。

手話通訳者派遣件数は年々伸びており、ニーズも高まっている。新しい通訳者達の活躍に期待したい。

<右写真後列左から>

- ・ 伊藤 伊津子（いとう いつこ）
- ・ 神野 淳子（かみの じゅんこ）
- ・ 國吉 陽介（くによし ようすけ）
- ・ 萩原 久美（はぎはら くみ）
- ・ 福尾 信子（ふくお のぶこ）
- ・ 宮下 晴美（みやした はるみ）

（敬称略）



どくわ 社会講座「読話教室」報告

8/11（金）に『読話教室』全10回が無事終了した。

講師はNPO法人名古屋難聴者・中途失聴者支援協会の荒川氏と佐藤氏。最終日、荒川氏より「読話の技術修得は日々の積み重ねである。そのため、講座が終わっても周りの人の口の動きを見て、繰り返し読話の訓練を続けて欲しい」と話があった。また、「自分の持つ障害を受容すること」について以下のように激励の言葉をいただいた。



誰かが助けてくれるだろうと「受身」であってはいけない。待っていても、支えてくれる人は増えない。「できないこと」を伝えているが、その「できないこと」を「できる」にするにはどうしたら良いのか？その答えを周りに考えてもらうのではなく、自分たちも一緒に考える必要がある。「できる」方法を何より一番知りたいのは周りの人たち。もし耳鳴りがしていて聞えないときは、「耳鳴りで聞えないので、手書きをお願いします。」と伝える。話すスピードが早いと読話ができないので、「口を読み取るのでゆっくり話してください。」とお願いしたり、読み取りやすい口形を伝えたり、耳マークをつけてアピールすることも大切。自らアピールして、堂々と生きましょう。

じきゆうどう こしょうへんこう 磁気誘導ループの呼称変更について

聴覚障害者の補聴援助システムとして全国的に活用されている「磁気誘導ループ」の呼称が変更された。

「磁気」という言葉がペースメーカーなど医療機器等に悪影響を及ぼすと誤解されがちなことや、2020年の東京オリンピック・パラリンピックへ向けて、海外へこのシステムをアピールするため改称となった。これに伴い、従来の「T付き耳マーク」が「ヒアリングループマーク」に変更された。

（一般財団法人 全日本難聴者・中途失聴者団体連合会からの通知）



期間限定「メガネで見る字幕ガイド」機器貸出開始！！

この度全国の4劇場で「メガネで見る字幕」眼鏡の貸出が期間限定で行われている。エプソン製スマートグラス「MOVERIO（モベリオ）」。スマートグラスを装着することで上映作品を字幕付きで鑑賞できる。事前申請が必要。愛知県では、名古屋駅のミッドランドスクエアシネマで無料貸出中。初の眼鏡導入作品は、福山雅治さん主演の『三度目の殺人』だったが、「メガネで見る字幕」は終わった。次の作品は9/23（土）から『ナミヤ雑貨店の奇蹟』が対象作品。全体の試験的貸出期間は9/9（土）～10/31（火）。字幕付き眼鏡の対象作品には緑の「字幕マーク」が付いている。



★貸出申込先★ NPO法人メディア・アクセス・サポートセンター事務局
メール：info@npo-masc.org FAX：03-5937-2233
URL：<http://npo-masc.org/glasses/>

第14回なごや手話フェスティバル

～ワークショップと手話ポエム～

“宮沢賢治の世界”を庄崎隆志が豊かに表現

日時： 11月26日(日)
13:00～15:30 (開場 12:30)
場所： 名古屋市北文化小劇場
北区志賀町4丁目60番地の31
ゲスト： office 風の器 庄崎 隆志 氏
入場券： 前売 2,000円 (小学生までは無料)
当日 2,500円
主催： 名古屋市聴言障害者協会
問合せ： なごや手話フェスティバル実行委員会
FAX：(052) 740-3633
Mail： mechogen@gmail.com

手話通訳・要約筆記のある行事案内

【公開講座】

◆平成29年度

南区在宅医療・介護連携市民向け講演会

自分らしい〈生き方〉〈終い方〉のために

～今できることを考えてみませんか～ ㊤㊥

日時： 10月14日(土) 13:30～15:30
場所： 南文化小劇場
南区千竈通 2-10-2
講演： 「高齢者が住み慣れた場所で安心して
最期を迎えるために準備しておくこと」
南医療生活協同組合 星崎診療所
所長 神田 茂 氏
定員： 300人 申込不要
費用： 無料
問合せ： (一社)名古屋市医師会南区在宅医療・
介護連携支援センター
FAX：(052) 823-0876
TEL：(052) 823-0874

◆平成29年度 孤立防止セミナー

～身近にひそむ孤立死のリスクについて

考えてみませんか～ ㊤㊥

日時： 10月23日(月) 13:30～15:30
場所： 瑞穂文化小劇場
瑞穂区豊岡通 3-29
講演： 「私のことは大丈夫」
～誰もが陥る可能性がある孤立死に
ならないために～
東邦大学管理学部教授 岸 恵美子 氏
定員： 340人 申込不要
費用： 無料
問合せ： 瑞穂区西部いきいき支援センター
FAX：(052) 872-1707
TEL：(052) 872-1705

◆平成29年度 明るい選挙推進熱田区講演会㊤㊥

笑いは百薬の長～副作用なしのお笑い療法～

日時： 11月2日(木) 14:00～15:30
場所： 熱田文化小劇場
熱田区神宮 3-1-15
講師： ユーモアセラピスト
米津 さち子 氏
定員： 350人 申込不要
費用： 無料
問合せ： 熱田区選挙管理委員会事務局
FAX：(052) 682-1496
TEL：(052) 683-9415



ドキュメンタリー映画『もうろうをいきる』

自主上映について

目と耳から情報の入らない盲ろう者の日常を追った作品。世界でも数の少ない盲ろう者のドキュメンタリー映画で、各地で上映された。地域のイベントや教育現場などでの自主上映を受け付けている。
問合せ： 株式会社シグロ(映画製作・配給会社)
FAX：(03) 5343-3102
TEL：(03) 5343-3101
HP： <http://www.cine.co.jp/>

～ 休館のお知らせ ～

11月19日(日)、12月29日(金)～1月4日(木)

編集後記

暑い夏が終わり、食欲と芸術の秋になりました。秋は各地で様々なイベントが開催されます。美味しく、楽しく過ごしたいですね♪

利用状況	6月	7月	8月
手話通訳者派遣件数	362件	345件	322件
人数	431人	422人	379人
要約筆記者派遣件数	45件	47件	45件
人数	112人	118人	96人
盲ろう通訳介助員派遣件数	142件	124件	148件
人数	148人	136人	156人
ビデオ・DVD貸出本数	9本	10本	39本
中継サービス利用件数	48件	50件	43件